

# 総務委員会 報告資料

令和4年6月24日

報告事項件名	頁
1 「SDGs 未来都市」の選定について . . . . .	2
2 SDGs モデル事業「アヤセ未来会議」の実施に伴う簡易型プロポーザルの実施について . . . . .	5
3 オンライン申請システムの稼働状況について . . . . .	7
4 キャッシュレス決済利用窓口の拡充について . . . . .	9
5 「足立区デジタル・トランスフォーメーション（DX）推進計画」の策定方針について . . . . .	10
6 情報システム支援業務委託について . . . . .	11
7 「足立区外へ向けたシティプロモーション支援業務委託」公募型プロポーザルの実施結果について . . . . .	14
8 「足立区統合電話センター運営業務委託」公募型プロポーザルの実施について . . . . .	17
9 第一生命保険会社との包括連携協定の締結について . . . . .	19

( 政策経営部 )

# 総務委員会報告資料

令和4年6月24日

件名	「SDGs未来都市」の選定について
所管部課名	政策経営部 SDGs未来都市推進担当課
内容	<p>SDGsの推進に係る取組状況について以下のとおり報告する。</p> <p><b>1 「SDGs未来都市」等の選定について</b></p> <p>内閣府が2018年度から実施している、SDGs達成のために優れた取り組みを進めている自治体を公募して認定する「SDGs未来都市」に、今年度足立区が選定された。</p> <p>同時に、特に優れた取り組みが認定される「自治体SDGsモデル事業」にも、足立区が選ばれた。（23区でのダブル選定は豊島区・墨田区に続き3例目）。</p> <p>なお、「自治体SDGsモデル事業」の選定都市には、初年度に限り、補助金が交付される。</p> <div data-bbox="408 1025 1275 1153" style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"><p>2022年度のSDGs未来都市の選定：30都市 うち自治体SDGsモデル事業：10事業</p></div> <p>選定委員からの講評は資料1参照</p> <p><b>2 足立区のSDGs未来都市提案</b></p> <p>「多様なステークホルダーと挑む『貧困の連鎖』解消に向けた都市型モデルの構築」</p> <p><b>(1) 提案概要</b></p> <ul style="list-style-type: none"><li>2030年のあるべき姿を「誰もが一步踏み出せるレジリエンスの高いまち ～ボトルネック的課題を解消し、その先の挑戦へ～」と題し、区の根底課題である「貧困の連鎖解消と区のマイナスイメージの払拭」を進める施策展開する。</li><li>モデル事業は、エリアデザインにより大きく変わる転機を迎えている綾瀬で展開。「まちの力」を引き出しながら東口駅前広場の活用や西口高架下の改善等を進め、区のマイナスイメージ払拭や子どものロールモデルになる人材を生み出していく。</li></ul>

	<p><b>(2) モデル事業の主な取組（補助金対象事業）</b></p> <p><b>ア 「アヤセ未来会議」</b>  住民等がまちで“やりたい”ことの実現に向けて話し合い、実践する場を創出する。</p> <p><b>イ 「高架下 No Border LAB」</b>  老朽化し空店舗が多い綾瀬駅西口の高架下を、シェアストアやシェアキッチン、ワークショップなど、多様な人々の活躍や挑戦の場として再生し、綾瀬の賑わい創出拠点とする。</p> <p><b>ウ 「つながるマルシェ」</b>  駅前広場と東綾瀬公園の一体的整備に合わせて、地域に賑わいと交流を生み出すマルシェを開催する。</p> <p><b>(3) 今後の予定</b></p> <p>6月中旬 未来都市計画素案の提出  7月中旬 計画策定・公表</p>
<p>問題点  今後の方針</p>	<p>今後、2030年のあるべき姿とその実現に向けた取組を明らかにした「足立区SDGs未来都市計画」を策定する。「誰もが一步踏み出せるレジリエンスの高いまち」の実現に向けて、経済面、社会面、環境面それぞれの取組を着実に進め、SDGsの目標達成を目指していく。</p>

## 自治体SDGs推進評価・調査検討会からの講評

提案者	講評
東京都 足立区	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ SDGs は地球にとっての持続可能性、人類にとっての持続可能性の 2 つがあり、貧困をターゲットにしている提案は今までになく、貧困問題に真正面から取り組み、その解消を SDGs による希望作りに設定している点は秀逸である。地域を限定した統合的取組における「未来会議」や「SDGs ラボ」の仕組みや形成の実践プロセスにも期待する。波及効果もあり、実現することを期待する。</li> <li>・ 足立区の貧困、犯罪の町のイメージを払拭し、若い世代が希望を持てる都市への転換についての提案であり、進学率UP、子供の居場所、防犯カメラ見守 IoT 活用での犯罪予防、創業支援での経済力UPと若者雇用支援は評価できる。</li> <li>・ 環境面での提案が弱いため、具体的な検討が望まれる。</li> <li>・ 貧困の連鎖を解消する取組として、アヤセ未来会議が経済活性化につながるメカニズムとして商業施設の立地誘導と住民によるマルシェの具体的な方策、財源についての検討を期待する。</li> <li>・ 意識の高いと思われる住民層への SDGs の認知、自分事として行動意欲を高める活動と自分事化を未来会議が中心となって地域の活動帯の連携を誘導して進めることを期待する。企業の巻き込みについて可能性の高い地域であり、積極的に活用いただくことを期待する。</li> <li>・ モデル事業対象地域における先進的な取組の効果を区域全体に広げていけるよう工夫がなされることを期待する。</li> <li>・ 「貧困問題の解消」に焦点を当てた取組として本事業の成果が挙げられることを期待する。</li> <li>・ 高齢者や一人親などの貧困層の雇用を作り出すことが重要であり、KPI を定めて 3 年間でどのように進めていくのかをしっかりと明確にする必要があると思料する。</li> <li>・ 認定企業制度については、幅広い視野で考える必要があると思料する。</li> <li>・ 商業活性化が貧困対策にどのようにつながるのかを具体的に検討されることが望まれる。</li> </ul>

# 総務委員会報告資料

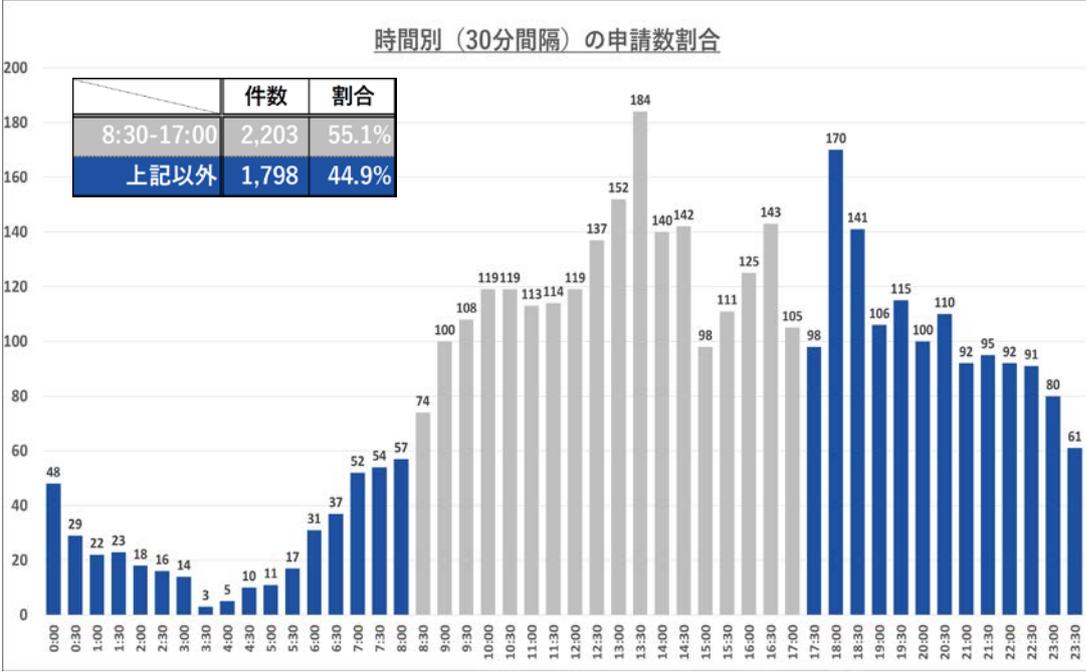
令和4年6月24日

件名	SDGsモデル事業「アヤセ未来会議」の実施に伴う簡易型プロポーザルの実施について
所管部課名	政策経営部 SDGs 未来都市推進担当課
内容	<p>SDGsモデル事業である「アヤセ未来会議」の運営事業者を選定するプロポーザルを実施する。今回は提案限度額が500万円未満であること及び同会議に他のSDGsモデル事業の取組を話し合うこともあることから、早急に実施する必要があるため、簡易公募型プロポーザルで実施する。</p> <p><b>1 業務名</b> 足立区のSDGs推進にかかるアヤセ未来会議運営業務委託</p> <p><b>2 業務内容</b>            (1) 「アヤセ未来会議」の企画、運営（全5回）            (2) 参加者へのフォローアップ、問い合わせ対応            ※ アヤセ未来会議とは、住民や学生等が綾瀬で“やりたい”“やってみたい”ことの実現に向けてワークショップ形式で話し合い実践する場のこと。参加者は今後、公募する予定</p> <p><b>3 履行期間</b> 令和4年契約確定日～令和5年3月31日（金）            ※ 年度後半に開催する評価委員会の評価が良好な場合に限り、予算の範囲内で契約を更新できる。なお、更新は1年単位とし、2回を限度とする。評価委員会及び評価基準については、別途規定する。</p> <p><b>4 提案限度価格</b> 4,400,000円（消費税込み）</p> <p><b>5 選定会議委員</b>            (1) 政策経営部長            (2) 政策経営部財政課長            (3) 政策経営部シティプロモーション課長            ※ 上記に加え、アドバイザーとして自治体のSDGsに精通した学識経験者も加える。</p> <p><b>6 今後の予定</b>            7月上旬～8月上旬 事業者募集            8月下旬 選定結果公表</p>

問 題 点 今後の方針	SDG s 未来都市への提案の中で当区が掲げた2030年のあるべき姿の実現に向け、円滑な事業運営の支援ができる事業者の選定に努めていく。
----------------	--

# 総務委員会報告資料

令和4年6月24日

件名	オンライン申請システムの稼働状況について																	
所管部課名	政策経営部 ICT戦略推進担当課																	
内容	<p>令和4年4月より本格稼働となった、オンライン申請システムの稼働状況について、以下のとおり報告する。</p> <p><b>1 オンライン申請の拡充について</b></p> <p>庁内各部署とのヒアリングによると、現在約160件の手続きが令和4年度中にオンライン申請システムへ移行予定である。尚、令和4年5月末時点での移行は、97件。</p> <p><b>2 オンライン申請の申請状況</b></p> <p>(1) 申請件数</p> <table border="1" data-bbox="400 875 1481 1039"> <thead> <tr> <th></th> <th>4月</th> <th>5月</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>オンライン申請件数</td> <td>1,139</td> <td>2,862 (+1,723)</td> <td>4,001</td> </tr> </tbody> </table> <p>(2) 時間別（30分間隔）の申請数割合</p>  <table border="1" data-bbox="464 1211 791 1335"> <thead> <tr> <th>時間</th> <th>件数</th> <th>割合</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>8:30-17:00</td> <td>2,203</td> <td>55.1%</td> </tr> <tr> <td>上記以外</td> <td>1,798</td> <td>44.9%</td> </tr> </tbody> </table>		4月	5月	合計	オンライン申請件数	1,139	2,862 (+1,723)	4,001	時間	件数	割合	8:30-17:00	2,203	55.1%	上記以外	1,798	44.9%
	4月	5月	合計															
オンライン申請件数	1,139	2,862 (+1,723)	4,001															
時間	件数	割合																
8:30-17:00	2,203	55.1%																
上記以外	1,798	44.9%																

(3) 手続き別申請数（法人向けは除く）

開庁時間外での申請については、「18歳からの選挙立会人」や「二十歳の集い関連」といった若年層向け手続きが、それぞれの申請全体の半分以上を占めるなど、広く活用されている。

	主な申請手続	オンライン申請件数	開庁時間外の申請割合
1	新型コロナウイルスワクチン接種関連	1,640	53.6%
2	がん検診、成人歯科健診申し込み	974	46.5%
3	保育園入所関連	272	46.3%

(4) 利用者からのアンケート回答（一部抜粋）

- ・ 自宅から、区役所や区民事務所がやや距離がある為、老後を考えると大変便利に手続きが出来る事は有難い。
- ・ 24時間申し込みができるので、子育て中の母親には助かる。
- ・ ネット環境がない人やコンピューターに不慣れな人を置き去りにせず、申請方法を整えてほしい。

### 3 オンライン申請の利用傾向の分析と今後の取り組み事項

(1) 時間別申請件数

早朝や夜間といった区役所の開庁時間外に利用されている方が全体の4割を占める。家事の隙間時間と推察される時間帯が特に多く、主婦層の方々に対して「いつでも、どこでも」申請できる環境を提供できている。

(2) 利用者満足度

アンケート機能を活用した調査によると、入力すべき項目が分かり易い申請フォームを作成すると、申請率や満足度が高くなることが確認できた。窓口と異なり、職員に曖昧な箇所を質問できる環境ではないため、これらの申請フォームを好事例として庁内に共有し、より利用満足度の高いシステムを目指していく。

(3) 今後の取り組み

現状は、保育、衛生、戸籍関連の申請が大半を占めるが、区のあらゆる分野の手続きがオンライン申請システムに移行できるよう、関係所管と引き続き連携を図る。

問題点  
今後の方針

# 総務委員会報告資料

令和4年6月24日

件名	キャッシュレス決済利用窓口の拡充について												
所管部課名	政策経営部 ICT戦略推進担当課、区民部 課税課、戸籍住民課 地域のちから推進部 地域調整課												
内容	<p>多様な決済手段の提供による区民利便性の向上、決済時の非接触化による感染症対策を目的に、キャッシュレス決済が利用できる窓口を拡充する。</p> <p><b>1 利用できる窓口</b></p> <table border="1" data-bbox="416 683 1461 891"> <thead> <tr> <th>項番</th> <th>所属</th> <th>開始時期</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>課税課</td> <td>【新規】R4.8月上旬を予定</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>各区民事務所<sup>※1</sup></td> <td>【新規】R4.8月上旬を予定</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>戸籍住民課<sup>※2</sup></td> <td>【導入済】R2.11（交通系ICのみ利用可）</td> </tr> </tbody> </table> <p>※1 収納事務を取り扱わない中央本町区民事務所を除く。          ※2 令和4年9月を目途に、交通系ICカード以外の決済手段も利用できるよう準備を進める。</p> <p><b>2 主な利用対象手続</b>          課税証明書・住民票の写し・印鑑登録証明書等の各種証明書交付手数料          ※ 区民事務所窓口での4公金の支払いは現金のみ取扱い。</p> <p><b>3 取扱う決済手段</b>          現金・クレジットカード・電子マネー・コード決済</p> <p><b>4 導入による期待効果</b></p> <p>(1) 区民</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>多様な決済手段の確保</li> <li>スピーディーな決済による窓口滞在時間の減、接触機会の減</li> </ul> <p>(2) 職員</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>釣銭の手渡し間違い等のミス防止や現金管理の手間の減</li> </ul>	項番	所属	開始時期	1	課税課	【新規】R4.8月上旬を予定	2	各区民事務所 <sup>※1</sup>	【新規】R4.8月上旬を予定	3	戸籍住民課 <sup>※2</sup>	【導入済】R2.11（交通系ICのみ利用可）
項番	所属	開始時期											
1	課税課	【新規】R4.8月上旬を予定											
2	各区民事務所 <sup>※1</sup>	【新規】R4.8月上旬を予定											
3	戸籍住民課 <sup>※2</sup>	【導入済】R2.11（交通系ICのみ利用可）											
問題点 今後の方針	<ul style="list-style-type: none"> <li>ホームページやあだち広報で利用開始日や決済ブランドを周知する。</li> <li>会計事務の運用や業務フローについて関係各課で調整を進める。</li> </ul>												

# 総務委員会報告資料

令和4年6月24日

件名	「足立区デジタル・トランスフォーメーション（DX）推進計画」の策定方針について
所管部課名	政策経営部 ICT戦略推進担当課
内容	<p>「足立区デジタル・トランスフォーメーション*（DX）推進計画」の策定方針について、以下のとおり報告する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>※デジタル・トランスフォーメーション…ビジネスモデルだけではなく、業務プロセス、組織体制、組織文化をICT技術により変革し、新たな価値を生み出すこと。</p> </div> <p><b>1 策定の背景・目的</b>          外部有識者を含む検討委員会を設置し、「ICT戦略推進計画」の策定を進めていたが、国の「自治体デジタル・トランスフォーメーション（DX）推進計画」策定等の動向を受け、区としても単なるデジタルツールの利用にとどまらず、ICT技術による既存事業の見直しや変革に向けてDX推進計画の策定に取り組むこととした。</p> <p><b>2 これまでの経過</b>          平成25年 3月 「足立区情報化推進計画」策定          令和 2年 3月 「ICT戦略推進計画検討委員会」を設置          令和 2年12月 国が「自治体デジタル・トランスフォーメーション（DX）推進計画」を策定          令和 3年 9月 デジタル社会形成基本法施行・デジタル庁創設</p> <p><b>3 今後の予定</b>          令和4年 9月 素案の策定及びパブリックコメントの実施について総務委員会に報告          令和4年11月 結果及び意見に対する区の考え方を総務委員会に報告          令和4年12月 パブリックコメントの意見を踏まえ、素案に必要な修正を加え策定</p>
問題点 今後の方針	

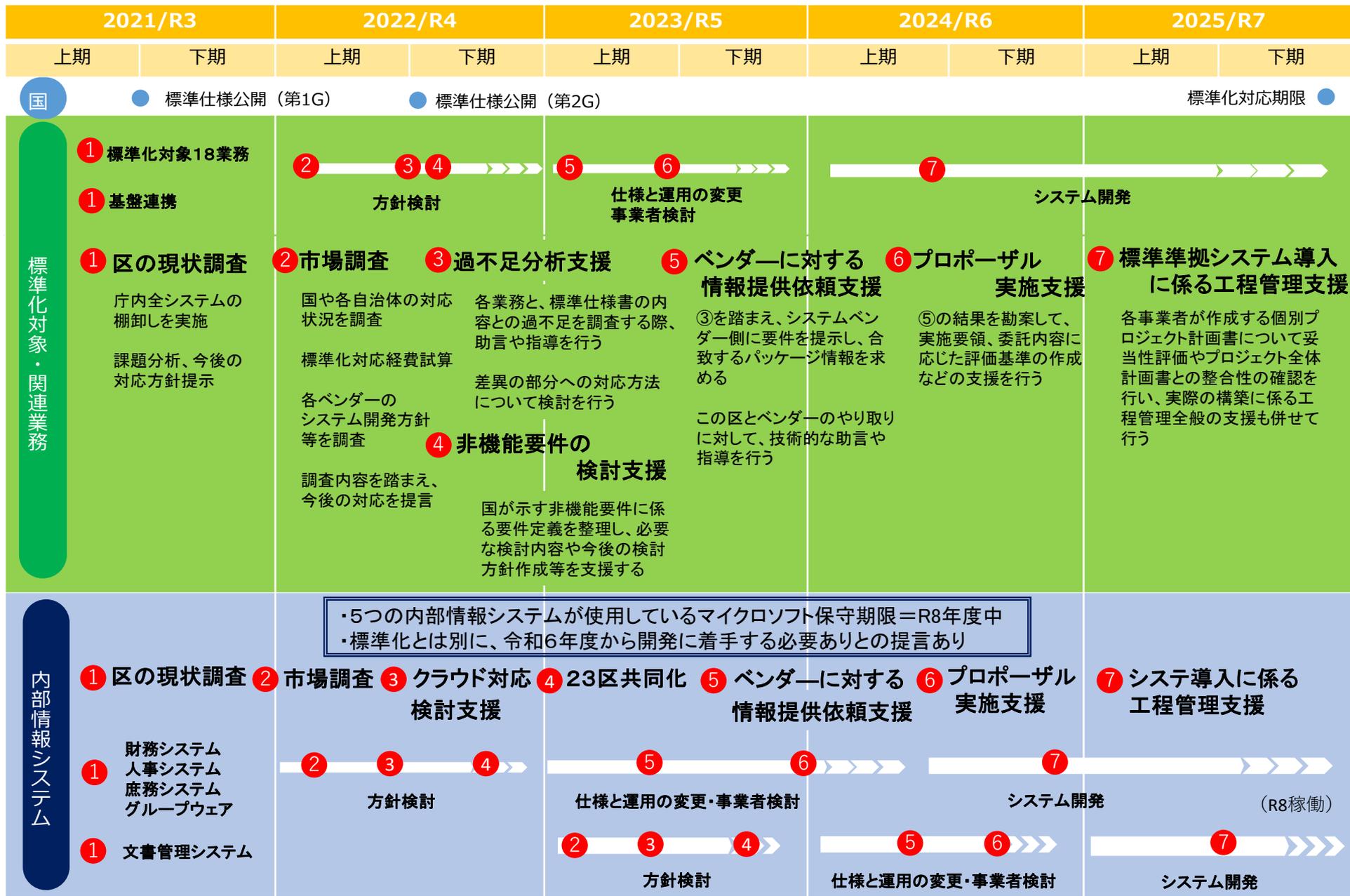
# 総務委員会報告資料

令和4年6月24日

件名	情報システム支援業務委託について
所管部課名	政策経営部 情報システム課
内容	<p>情報システム支援業務委託の令和3年度の成果及び今後の業務計画について報告する。</p> <p><b>1 委託目的</b></p> <p>(1) 国が示した「自治体DX推進計画」を受け、最新の技術と広範な専門的知見を得て、システム標準化に円滑に対応するため。</p> <p>(2) 区の情報システム全体の把握・分析評価を行うことで、開発・運用保守のトータルコストの削減、システムの安全性確保と最適化を図る。</p> <p><b>2 委託事業者</b></p> <p>株式会社 エーティールシステムズ (住所：山梨県甲府市相生一丁目4番23号)</p> <p><b>3 委託内容</b></p> <p>(1) 区の情報システム全体の最適化を考慮したシステム開発支援 (2) システムの標準化・ガバメントクラウド移行に関する助言等の支援 (3) システム導入審査過程における、導入支援とコスト評価</p> <p><b>4 令和3年度の実施結果</b></p> <p>(1) 期間 令和3年11月から令和4年3月まで(5カ月)</p> <p>(2) 経費 24,464,000円(税込)</p> <p>(3) 支援内容</p> <p>ア 事業者の組織力を活用し、高度な専門知識や最新技術の動向把握や、国及び他自治体の情報収集や状況分析を踏まえた支援を受けた。</p> <p>イ 事業者の職員1名が週2.5日常駐し、継続した技術的支援を受けた。</p> <p>(4) 具体的な成果</p> <p>ア 標準化対応</p> <p>(ア) 基幹系システムの標準化対応に関する区の基本方針(案)の策定</p> <p>イ 区の情報システム最適化</p> <p>(ア) 見積もり審査支援による費用削減 約2,200万円</p> <p>(イ) 業務システム構成の可視化と今後の更新計画の策定</p> <p><b>5 今後の業務計画</b></p> <p>別紙「標準化対応・内部情報システム更改スケジュールと、支援事業委託の業務内容について」のとおり。</p>

問題点 今後の方針	<ol style="list-style-type: none"><li>1 委託業者と連携して、システムの安全性確保と最適化を図り、システムの開発・運用保守のトータルコスト削減に向けて取り組んでいく。</li><li>2 令和7年度までは標準化への対応などの効果が見込まれるため、業務委託を継続していく。</li></ol>
--------------	--

標準化対応・内部情報システム更改スケジュールと、支援事業委託の業務内容について



# 総務委員会報告資料

令和4年6月24日

件名	「足立区外へ向けたシティプロモーション支援業務委託」公募型プロポーザルの実施結果について																								
所管部課名	政策経営部 シティプロモーション課																								
内容	<p>公募型プロポーザルの実施結果について、以下のとおり報告する。</p> <p><b>1 業務名</b> 足立区外へ向けたシティプロモーション支援業務委託</p> <p><b>2 業務内容</b>                  (1) 区外へ向けた広報・メディア戦略のターゲット抽出                  (2) 足立区の魅力コンテンツの抽出                  (3) 区外に向けたプロモーションに関する広報・メディア戦略の作成                  (4) 区外に向けた情報発信に向けたコンサルティング など</p> <p><b>3 被特定事業者</b> 株式会社電通 PR コンサルティング (東京都港区東新橋1-8-1 電通本社ビル19階)</p> <p><b>4 提案金額</b> 11,000,000円(消費税込み) ※ 提案限度価格 11,000,000円(消費税込み)</p> <p><b>5 評価経過・審査結果等</b>                  (1) 選定委員会の委員構成 合計5名の委員で構成。委員の内訳は次のとおり。</p> <table border="1" data-bbox="437 1453 1331 1713"> <thead> <tr> <th>委員区分</th> <th>役職・所属</th> <th>人数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>学識経験者</td> <td>大学教授(国際学部)</td> <td>1名</td> </tr> <tr> <td>区民</td> <td>出版・メディア関係者</td> <td>2名</td> </tr> <tr> <td>区職員</td> <td>報道広報課長 こころとからだの健康づくり課長</td> <td>2名</td> </tr> </tbody> </table> <p>(2) 選定委員会の開催経過</p> <table border="1" data-bbox="437 1778 1369 2063"> <thead> <tr> <th>回</th> <th>開催日</th> <th>人数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>第1回</td> <td>3月9日</td> <td>募集要件等の決定</td> </tr> <tr> <td>第2回</td> <td>4月22日</td> <td>参加表明書、財務診断結果による提案書提出者の選定</td> </tr> <tr> <td>第3回</td> <td>5月31日</td> <td>提案書、プレゼンテーションによる事業者選定</td> </tr> </tbody> </table>	委員区分	役職・所属	人数	学識経験者	大学教授(国際学部)	1名	区民	出版・メディア関係者	2名	区職員	報道広報課長 こころとからだの健康づくり課長	2名	回	開催日	人数	第1回	3月9日	募集要件等の決定	第2回	4月22日	参加表明書、財務診断結果による提案書提出者の選定	第3回	5月31日	提案書、プレゼンテーションによる事業者選定
委員区分	役職・所属	人数																							
学識経験者	大学教授(国際学部)	1名																							
区民	出版・メディア関係者	2名																							
区職員	報道広報課長 こころとからだの健康づくり課長	2名																							
回	開催日	人数																							
第1回	3月9日	募集要件等の決定																							
第2回	4月22日	参加表明書、財務診断結果による提案書提出者の選定																							
第3回	5月31日	提案書、プレゼンテーションによる事業者選定																							

(3) 評価経過

参加表明	一次評価	辞退	二次評価	特定
10者	10者	0者	4者※	1者

※ 二次評価の対象は5者であったが、内1者から辞退の申し出があったため、4者となった。

(4) 審査結果

提案事業者	得点	得点率
<決定事業者名>	423点	84.6%
第2順位事業者	401点	80.2%
第3順位事業者	281点	56.2%
第4順位事業者	256点	51.2%

(満点は500点。詳細は別紙のとおり。)

**6 履行期間**

令和5年3月31日まで

問題点  
今後の方針

- ・ 受託事業者と月1回程度定例会を開催し、令和5年度から令和7年度に実施する効果的で実現性の高い足立区外に向けた広報・メディア戦略を構築していく。
- ・ 戦略策定の過程や区政情報の発信など、Web媒体の効果的な活用についてコンサルティング・アドバイスを受け、戦略的な発信を実行する。

## 足立区外へ向けたシティプロモーション支援業務委託 提案書特定結果

項番	評価項目			配点		第一順位	第二順位	第三順位	第四順位	
	分類	指標				得点	得点	得点	得点	
1	業務の理解度	業務の理解度は十分か	業務実施の方針内容		100	100	92	88	60	48
2	業務遂行能力	業務を遂行する体制は妥当か	業務の実施体制及び従事者の経験・実績		50	50	40	38	32	30
3	提案内容の的確性	業務の実施手順は妥当か	実施フロー・スケジュールの妥当性		50	250	42	40	24	22
4		ターゲット抽出・魅力コンテンツの抽出・共通認識の醸成の手法は効果的か	業務手法は効果的か		100		88	80	52	52
5		提案を基に適正に執行できるか、実現性はあるか	業務の妥当性・実現性		100		84	80	52	52
6	コスト	コストは妥当か	提案見積価格		25	25	17	16	14	13
7	法令遵守	個人情報保護・情報セキュリティに関する対策を講じているか	内規や方針内容は妥当か		25	25	18	17	15	15
8	プレゼンテーション	説得力・資料調整力はあるか	プレゼンにおける説明能力や業務への意欲、論理性、態度、資料の正確性等		50	50	42	42	32	24
小 計					—	500	423	401	281	256
	区内業者		区内に本店があり、対象業務区域が区内	合計に加算	20	—	—	—	—	—
	区内業者		区内に支店があり、対象業務区域が区内		12	—	—	—	—	—
合 計							423	401	281	256

# 総務委員会報告資料

令和4年6月24日

件名	「足立区統合電話センター運営業務委託」公募型プロポーザルの実施について												
所管部課名	政策経営部 区民の声相談課												
内容	<p>統合電話センター（代表電話・お問い合わせコールあだち）の運営業務委託を行う事業者を選定するため、公募型プロポーザルを実施する。</p> <p><b>1 業務名</b> 足立区統合電話センター運営業務委託</p> <p><b>2 業務内容</b> (1) 代表電話およびお問い合わせコールあだち（電話・メール・FAX）での一次対応 (2) よくあるご質問システムおよび対応履歴システムの更新、管理・運営</p> <p><b>3 運営業務委託期間</b> 令和6年1月4日～令和10年12月31日 ※ 準備期間：契約締結日（令和5年1月予定）～令和6年1月3日</p> <p><b>4 提案限度価格</b> 752,933,000円（消費税込み）</p> <p><b>5 選定委員会委員</b></p> <table border="1" data-bbox="438 1366 1404 1608"> <thead> <tr> <th>委員区分</th> <th>役職（研究分野）</th> <th>人数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>学識経験者</td> <td>大学教授（情報通信・ソフトウェア） 大学助教授（情報システム）</td> <td>2名</td> </tr> <tr> <td>区民</td> <td>区審議会公募委員</td> <td>1名</td> </tr> <tr> <td>区職員</td> <td>副区長、政策経営部長、財政課長</td> <td>3名</td> </tr> </tbody> </table> <p><b>6 今後の予定</b> 令和4年 8月 第1回選定委員会（提案書審査基準の決定） 9月 公募 令和4年10月 第2回選定委員会（提案書提出者決定） 令和4年11月 第3回選定委員会（提案書特定） 令和4年12月 総務委員会選定結果報告 令和5年 2月 システム構築開始</p>	委員区分	役職（研究分野）	人数	学識経験者	大学教授（情報通信・ソフトウェア） 大学助教授（情報システム）	2名	区民	区審議会公募委員	1名	区職員	副区長、政策経営部長、財政課長	3名
委員区分	役職（研究分野）	人数											
学識経験者	大学教授（情報通信・ソフトウェア） 大学助教授（情報システム）	2名											
区民	区審議会公募委員	1名											
区職員	副区長、政策経営部長、財政課長	3名											

	<p><b>7 その他</b></p> <p>プロポーザルの実施と合わせて、現行委託事業者との契約期間延長（令和5年12月末まで）の手続きを進める（令和3年12月6日総務委員会に報告済み）。</p>
<p>問題点 今後の方針</p>	<p>統合電話センターは、区民からの問合せに対する一次対応を行う役割を担っており、次期運營業務委託期間においても、可能な限り区民からの様々な問合せにワンストップで対応できる事業者の選定に努めていく。</p> <p>また、今回の更新により、これまで以上に区民が利用しやすい「よくあるご質問システム」の改善に努めていく。</p>

# 総務委員会報告資料

令和4年6月24日

件名	<b>第一生命保険株式会社との包括連携協定の締結について</b>
所管部課名	政策経営部 あだち未来支援室 協働・協創推進課
内容	<p>第一生命保険株式会社との包括連携協定の締結について、下記のとおり報告する。</p> <p style="text-align: center;">記</p> <p><b>1 目的</b></p> <p>足立区に4つの営業所を置く第一生命保険株式会社とは、区のボトルネック課題である治安や健康増進を中心に、これまで連携した取り組みを行ってきた。</p> <p>今後も、相互連携と協働・協創による活動を推進することで、地域の諸課題に迅速かつ適切に対応し、活力ある個性豊かな地域社会の形成と発展及び区民サービスの一層の向上を図るため、包括連携協定を締結する。</p> <p><b>2 協定締結予定日</b></p> <p>令和4年7月21日（木）</p> <p>※ 同日午後2時より、特別応接室にて締結式を行う。</p> <p><b>3 これまでの主な連携事項</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 生涯設計デザイナー（*）による「ながら見守り活動」、「不法投棄通報協力員」への登録・活動</li> <li>・ あだちベジタベライフ、食育月間、糖尿病月間など区事業のPR活動</li> <li>・ 新型コロナウイルスワクチン接種に対する予約サポート支援</li> </ul> <p>（*）生涯設計デザイナー 契約者へのアフターサービス、保険に関する相談・提案・販売を行う営業職員の呼称</p>
問題点 今後の方針	締結後も協定に基づく双方の連携を強化し、新たに取り組める事業を協議していく。